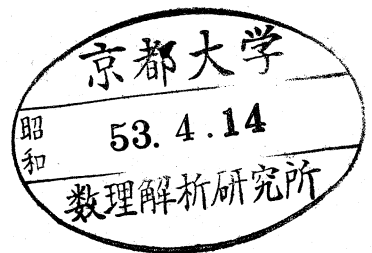


4-5100

数理解析研究所講究録 319

リ  
8  
9

同変ホモトピー論



京都大学数理解析研究所

1978年2月

京都大学

251 4610

図書

数理解析研究所

はじめに

研究代表者 川久保勝夫

11  
8  
9

位相群が作用している状況での位相幾何学は、今迄のそれとの類似性が成り立つ場合と完全に異なる様相を呈する場合に大別される。しかし、同変ホモトピー論を中心に、まだ混沌としている所が、たくさんあり、それらを明らかにせんと、変換群の研究者が集まった。特に同変  $J$ -準同型写像は、幾何学的な意味からも重要であり、世界中で探索の段階で、定義も人により異なる現状である。一臬の  $J$ -群は意味が無かったが、同変  $J$ -群では、一臬でも深い意味をもち、変換群特有の新しい対象として登場するに到った。この研究集会では、講演より研究情報交換に重きを置いたため、講演数を少なくし、自由討論の時間を多くした。その結果、色々な問題臬が新しく認識されるようになった。従ってこの講究録には講演者以外の方にもお願いして書いていただいた。

最後に、この研究集会がもてたこと、及び多大な御協力をいただいたことで、数理解析研究所に感謝したい。

同変ホモトピー論

研究集会報告集

研究代表者 川久保 勝夫

1977年11月30日 ~ 12月2日

目 次

1. ある同変微分同型群の完全性について..... 1  
信州大 教養 阿部 孝順
2. MR-theory の問題点 ..... 9  
大阪市大 理 荒木 捷朗
3. コホモロジー-複素射影空間上の  $s^1$  作用 ..... 20  
東大 理 服部 晶夫
4.  $U(n)/T^n$  上の  $s^1$  作用による不動点集合について..... 26  
岡山大 理 外間 研二  
河野 進
5. 同変写像のボルディズム群..... 39  
九大 教養 鎌田 正良
6. 球面上の involution の拡張について ..... 54  
北大 理 神島 芳宣
7. 同変双対性定理と群  $J_G(*)$ ..... 65  
阪大 理 川久保 勝夫

8.  $G$ 多様体上の孤立零点をもつ  $G$  ベクトル場について.....
- 山口大 文理 小宮克弘
9. Reality に関する 2, 3 の注意 .....
- 島根大 文理 松永弘道
10. Equivariant S-duality .....
- 阪市大 理 村山光孝
11. Transfer と同変写像の Lefschetz 数..... 1
- 阪大 理 中岡 稔
12. 余次元 2 の主軌道をもつ球面の変換群..... 1
- 新潟大 理 渡部 剛
13.  $S^1$ 作用をもつ単連結 4次元多様体..... 1
- 岡山大 理 吉田朋好